



6基のLED照明塔により(写真では2基が見える)均斉度の高い照明環境が確保されたグラウンド。近隣に大阪国際空港があるため全国からのアクセス性にも優れる

豊中ローズ球場 (豊島公園野球場)

「高校野球発祥の地・豊中」で 市民球場のナイター設備をLED化

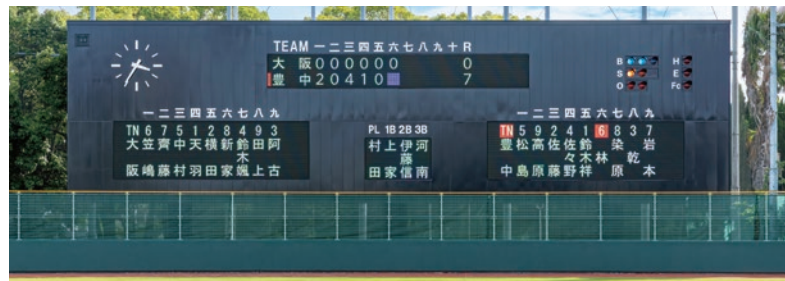
1968年に開設された豊島公園野球場(愛称:豊中ローズ球場)は、1996年に「高校野球発祥の地・豊中」のメモリアル球場として再整備。バックスクリーンやナイター設備も有する公式試合球場となり、全国高等学校野球選手権大阪府大会やプロ野球ウエスタン・リーグ戦などが開催されていた。今回の大規模改修工事では、老朽化対策や安全対策が実施され、施設内の全照明をLED化。ナイター設備もLED投光器に一新された。また、球場内に「高校野球発祥の地・豊中ミュージアム」が新たに開設されている。

豊中市都市活力部スポーツ振興課の山村憲二課長は「夏の全国高校野球の前身である『全国中等学校優勝野球大会』の第1回、第2回大会が開催された豊中グラウンドは大正末期に廃止されたが、『高校野球発祥の地・豊中』にふさわしい球場として豊中ローズ球場の改修工事を行った。豊中市は行政運営の基盤としてシビックプライドの醸成を挙げており、その一つが『高校野球発祥の地』。空港に近く、アクセス性に優れた球場を都市活力の核と捉え、官民の協働で育てていこうと考えている。豊中市立文化芸術センターや豊中つばさ公園『ma-zika』とともに、地域のにぎわい創出につなげたい」と語る。



豊中ローズ球場

■大規模改修工事
所在地／豊中市曾根南町
事業主／豊中市
指定管理者／奥アンソーカ株式会社
設計／株式会社梓設計
電気工事／きんでん関西サービス株式会社
リニューアル竣工／2024年12月



明るい昼間でも視認性の高いフルカラーLEDスコアボード



バックネット裏に設置された
スコアボード表示システム



改修にあたって座席も一新されたメインスタンド



照明塔の光害対策LED投光器は灯数を6割に抑えつつ
JIS規格クラスⅡ(全灯時)を満たす照度を実現



グレア抑制や照度分布図などシミュレーションを重ね、
1台ごとに角度調整されたLED投光器



LED化されたエントランス照明



新設された「高校野球発祥の地・豊中ミュージアム」

主な納入設備

- 光害対策LED投光器
- 照明制御システム
- 野球場スコアボード表示システム
- LED照明器具
- 放送設備
- 低圧分電盤